

第2章 文化財の総合的把握

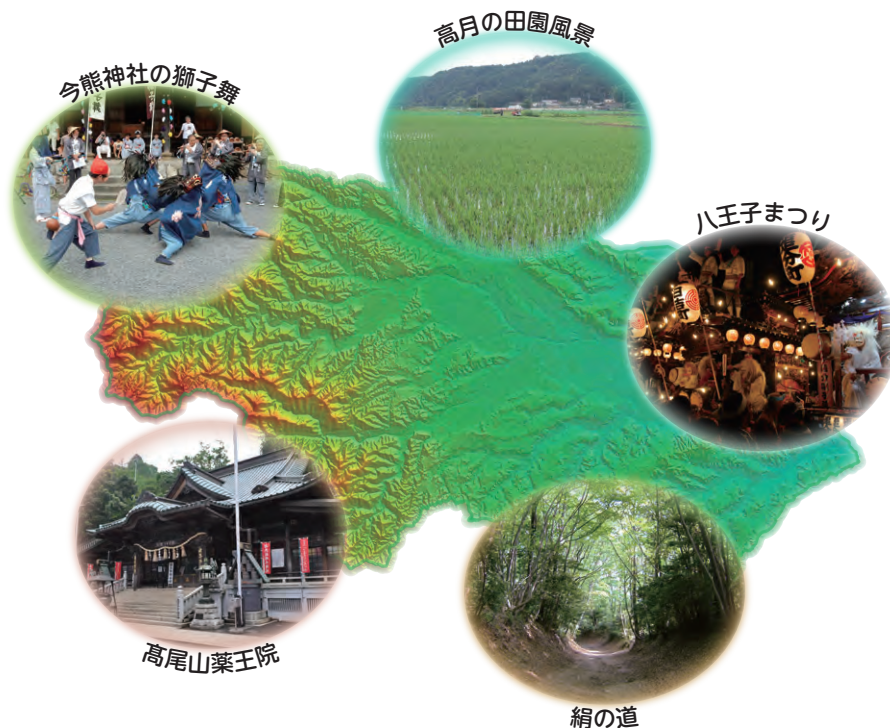
1. 「八王子の歴史文化」とは

地域の歴史文化の背景には、その土地ごとに地勢や植生などの自然環境、人々の営みがあり、それぞれの土地で地域の文化財が受け継がれています。

本市の地勢的な要素は、市域の西部を占める山地や北部・南部に代表される丘陵とそこに形成されている谷戸、そしてそれらを源として流れ出た川が形成した平地と多岐にわたっています。そして、そこには多様な動植物が息づいて、豊かな緑と四季折々の姿を人々の前に映し出していきます。こうした自然環境のもとに人々は生活し、土地ごとに暮らしや生業、文化・風習や信仰などが形作られ、次代に受け継がれていきます。山地や丘陵地は豊かな水と緑を背景に田畑や酪農、養蚕などが営まれるようになり、平地は甲州道中の宿駅として人々が集まる商業都市となりました。こうした人々の営みを背景に、今、私たちが暮らす八王子には、数多くの文化財が存在しています。



歴史文化の背景



地理的な特徴と関係する文化財の例

2. 歴史文化に関わるモノ・コトの洗い出し

本計画では、本市の歴史文化を知るために、これまで取り組んできた文化財保護行政や歴史研究など、調査・研究の成果の整理や、市民からの聞き取り調査などにより、歴史文化に関わるモノ・コト（歴史文化資源）の洗い出しを行いました。

(1) 既存文献等の確認

これまでに市が実施した調査成果をまとめた刊行物は巻末資料に掲載しています。これら市の調査成果のほか、郷土史家などが刊行した資料等も含めた歴史文化に関わる各種文献から歴史文化に関わるモノ・コトの洗い出しを行いました。

ア 『新八王子市史』編さん事業による刊行物

『新八王子市史』本編・資料編の計14冊をはじめ、事業に際して作成された刊行物を確認しました。



『新八王子市史』全14巻

イ 教育委員会による刊行物

郷土資料館や文化財課をはじめとした、八王子市教育委員会刊行の報告書・図録等を確認しました。

ウ 郷土史家や市民活動団体等による調査・研究

郷土史家や町会自治会、市民活動団体等が刊行した書籍や『武蔵名勝図会』などを確認しました。

エ その他の刊行物

市制40周年を記念して編さんされた『八王子市史』や『八王子景観100選』をはじめとした観光関連情報など、歴史文化との関わりが深い刊行物や関係する公的なホームページなどを確認しました。

(2) 市民の心に刻まれた歴史文化

市民が本市の歴史を振り返り、日々の暮らしの中で大切に守られてきたものと、それらを次世代へ継承していくために一人ひとりができることなどについて、様々な事業を通して挙げていただきました。

また、本計画の根幹をなす「八王子市歴史文化基本構想」の策定に当たり開催した「みんなで学ぶ「地域の歴史文化」発見ワークショップ」では、参加いただいたみなさんから、各地区の歴史文化の継承に関する具体的な活動などを発表していただきました。

歴史文化の未来の担い手でもある子どもたちの意見をしっかりと受け止め、子どもたちと一緒に取組を進めることが大切です。

ア 子ども絵画コンテスト、小・中学生作文コンテスト、歴史伝統フォーラム、子どもミライフォーラムにおける子どもたちの思い

市制 100 周年記念事業の一環として、地域の宝である「はちおうじっ子」たちが、“ふるさと八王子”に対する愛着を深め、子どもたちの思いをこれからのまちづくりに活かしていくことを目的として、子ども絵画コンテストや小・中学生作文コンテスト、フォーラムが開催されました。

コンテストには市内在住の小・中学生から多くの応募があり、それらの作品には、八王子の歴史を振り返りながら未来に思いをはせ、夢や希望の実現に向けた一途な心が表現されています。

また、歴史伝統フォーラムでは、“歴史・伝統を次の 100 年へ”をテーマに八王子の歴史・伝統の魅力や次世代に継承していくための方法について、中学生たちが主役となり、活発な意見交換が行われました。

歴史伝統フォーラムでの中学生からの提言

未来へ活かそう

～それぞれの時代の八王子の魅力～

子どもミライフォーラムでは、子どもたちが「自然を活かした観光が盛んで楽しめるまち」など、まちづくりに関する 5 つの提言を発表し、提言書を市長に託し

子ども絵画コンテストの作品



「秋の浅川」



「八王子まつりの山車」

ました。

これらの取組から、古くから伝わる八王子の伝統芸能や行事、豊かな自然を未来に残していきたいという願いが子どもならではの感性で表現され、今ある八王子の魅力を自分たちが引き継いで、未来を切り拓いていこうという一人ひとりの強い意志と郷土愛を感じることができました。

イ 子ども向け講座におけるアンケートでわかったこと

子どもたちに本市の歴史文化を知ってもらうことを目的として、毎年開催している子ども向け講座「文化財見て歩き「親子で体験！戦国の八王子城」」と「子ども手づくり甲冑教室」に参加した児童・保護者へアンケートを行いました。

参加した子どもたちは、歴史に興味がある参加者が多く、どちらのアンケートも「楽しかった」「上手にできてうれしい」といった感想が多くありました。これらの講座が本市の歴史文化に親しみや新たな興味関心を引き出し、積極的に学ぶ意欲につながっていることがわかりました。

子どもたちに八王子の歴史文化を大切にするために、自分ができることを聞いたところ、「歴史を知る」「みんなで守る」「いろいろな文化や歴史をみんなに伝える」「イベントに参加する」といった回答がありました。

子どもの回答内容から気づいたことを保護者に聞いたところ、「八王子の歴史や文化に触れる機会を増やしてあげたい」「子どもと一緒に学びたい」など、今後も八王子の歴史文化に関心を持ちたいといった感想が寄せられました。

このような体験型イベントは、参加する・知る・伝えるなどの自ら行動する動機づけになり、歴史文化の大切さや守っていかなければならないということを考えるきっかけとして有効であることがわかりました。



「親子で体験！戦国の八王子城」石垣づくりの様子



子ども手づくり甲冑教室の様子



八王子城跡ガイダンス施設



八王子城跡

子どもたちの声（子ども向け講座でのアンケート調査より、抜粋）

八王子の歴史文化で、あなたがおもしろいと思うのはどのようなことですか？ なぜですか？

八王子まつりがおもしろい

八王子まつりのぶっつけがおもしろい
いろいろなおみこしが見られるのでおもしろい

お城がおもしろい

おしろあとを見てむかしはどうだったのか
むかし八王子の山の上におしろがあったこと
城や武将や戦を知るのがおもしろい
甲冑。昔の人がこんなにむずかしいのを鉄でつくっていたことがすごい
など

ほかにも…

カイコがつくるきぬ糸です。理由は学校でカイコをじっさいにそだてたからです。
お寺など見るのが楽しいです。ぎもんが出てきて、調べるのが楽しいです。
車人形は本当の人間みたいでおもしろい

学校の先生

八王子まつりのこと
山車や地域のお祭りのこと
八王子城のこと

八王子市の歴史や文化、できごとは、誰から教えてもらうことが多いですか？

テレビ、本、ラジオ

地域の人

かつちゅうきょうしつ（かっちゅうきょうしつ）の先生
みつろうこ会の人

両親、家族、おじいちゃん

大切にしてほしい、守ってほしい

八王子まつりをこのままつづけてください
おしろあとなどをだいに
ねぎしのゆかりのある場所を残してほしいです

もっと教えてほしい

もっとおしえてもらいたいです
ねぎしの人物をもう少し教えてほしい
学校にうじてるくんとねぎしのお話をしてくれる人がきてほしい

八王子市の歴史や文化について、大人につたえたいことやお願いしたいことはありますか？

やってみたい

パパやママがしらないことをおしえてあげたい
本丸ごてんにいきたい
色々昔から続けていることをボランティアとかをしておうえんしたい

伝える

みんなにいろいろな文化やねぎしを伝える
もっと楽しんでもらえるために、いろんな人に伝える
ちらしを出す

知る、学ぶ

もっと知ること
まずはねぎしを知ることが大切だと思う

心がける

文かやねぎしをたいせつにする
みんなでももる
しげんをたいせつにする
おとずれた場所であらうがきをしたり、ごみをすてない

参加する

八王子市のねぎしについてのイベントに参加する
このようなイベントや八王子のお祭りをあげる

八王子市の歴史や文化を大切にするために、あなたはどのようなことができると思いますか？

ウ 「市長と語る」アンケートからわかったこと

「市長と語る」^{*}の参加者に「八王子の好きな風景や場所」「住んでいる地域で親しまれ受け継がれている行事や風習」についてアンケートを行いました。

アンケートでは、全体を通して「高尾山」を挙げる人が最も多く、具体的な内容として、「八王子市街の全景」「山頂からの眺望」「高尾山薬王院」「登山道の自然風景」等が挙げられ、山頂まで登りやすく、眺望や信仰などに市民が多様な魅力を感じていることがうかがえます。

また、「浅川」「湯殿川」「大栗川」「多摩川」など、近くに川のある暮らしの風景が挙げられるとともに、「川沿いのサクラ並木」「カワセミ」「ホタル」など水辺の景観が挙げられていました。さらに、「イチョウ並木」「甲州街道」といった“道”に関する回答もあり、暮らしに馴染んだ風景が本市の特徴を示すために欠かせない要素の一つとなっていることがわかりました。

各開催地区共通で公園や橋、施設など、身近な風景や場所も挙げられ、暮らしと密接に関わる風景が好きな場所となっていることがアンケートを通してわかりました。

地域に受け継がれている行事では、「どんど焼き」「夏祭り」「町民祭」「盆踊り」等が挙げられ、これらの行事は、市民に親しまれながら今も大切に継承されています。

*** 市長と語る**
協働のまちづくりに向け、市民と市長が直接語り合う対話集会。



「市長と語る」の様子



高尾山頂から見える富士山



イチョウ並木

エ 「市政モニターアンケート」からわかったこと

市政モニター^{*}の方に、本市の歴史文化に対する考えや大切にしているモノ・コトについて、アンケートを通して意見を聴きました。

八王子市の歴史文化に興味がある人の割合は64.4パーセントと半数以上ですが、今後、より積極的に文化財を活用していくためには、さらにその割合を高めることが必要であると考えられます。

また、八王子を訪れる人にすすめたい場所や行事が「ある」と答えた割合は78.9パーセントあり、「高尾山」「八王子城跡」「滝山城跡」「多摩御陵(武蔵陵墓地)」「イチョウ並木」「八王子まつり」「八王子いちょう祭り」などが挙げられました。これらの場所や行事は、本市の歴史文化に深く関係するため、観光的視点で捉えることで、本市の魅力をアピールする要素としても受け入れられやすいことがわかりました。

さらに、歴史文化に関わるモノ・コトを保存・活用していく上で大切なことを聞いたところ、「もっと周知、PRが必要」という意見が最も多く、持続的・効果的な情報発信が重要であることがわかりました。「歴史文化について、学び、触れ合う」「次世代への継承」「地域住民とのコミュニケーション」といった回答もあり、多くの方に知ってもらい、関心を高めてもらうことが大切であることがわかりました。

*** 市政モニター制度**
毎年度、無作為抽出で登録した市民100名に、市政運営の課題等について、インターネットや郵送でアンケート調査を実施する制度(任期1年)。



高尾山の門前町



八王子まつりの風景



多摩御陵(武蔵陵墓地)

オ 市民ワークショップで見つけた地域の魅力

各地区の歴史文化の魅力を再発見するため、市民ワークショップを実施しました。合併前旧市町村の10地区を単位として、2地区合同のワークショップを5回、最後に全体会を開催しました。

■ワークショップのテーマ

みんなで学ぶ「地域の歴史文化」発見ワークショップ

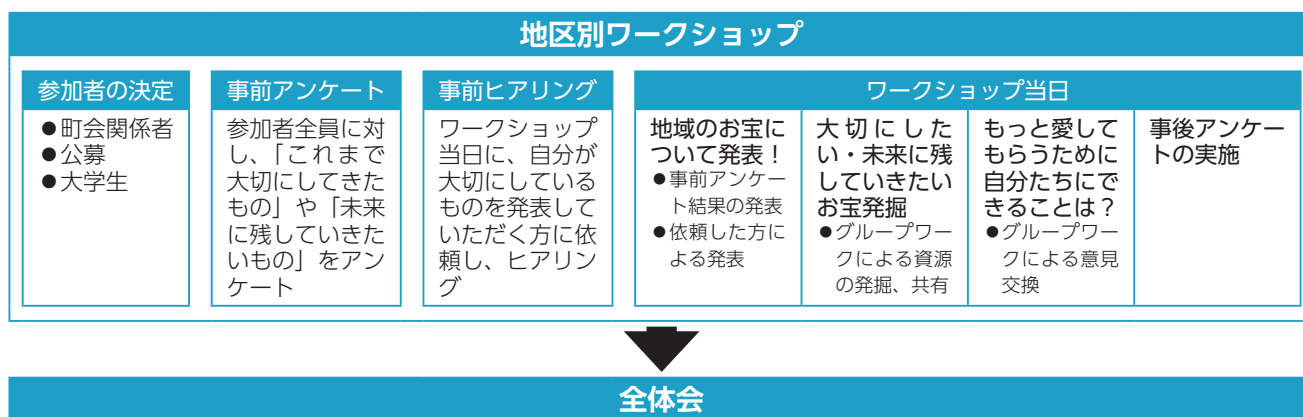
■ワークショップのねらい

- 地区の歴史文化を掘り起こし、地区を見つめなおす
- 歴史文化の魅力を伝えるためのアイデアを出し合う
- お互いの地区を知る（アイデアを学び合う）

■ワークショップの開催概要

| | 地区別 | | | | | 全体会 |
|-----|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| | 旧八王子・恩方 | 川口・由井 | 浅川・由木 | 元八王子・加住 | 小宮・横山 | |
| 日時 | 平成30年 11月10日(土) 10:00~12:30 | 平成30年 11月24日(土) 10:00~12:30 | 平成30年 11月24日(土) 14:00~16:30 | 平成30年 12月1日(土) 10:00~12:30 | 平成30年 12月1日(土) 14:00~16:30 | 平成31年 2月2日(土) 10:00~12:30 |
| 場所 | 八王子市役所 | 郷土資料館 | 郷土資料館 | 八王子市役所 | 八王子市役所 | 富士森体育館 |
| 参加者 | 旧八王子地区 8名 恩方地区 9名 | 川口地区 9名 由井地区 9名 | 浅川地区 13名 由木地区 8名 | 元八王子地区 9名 加住地区 9名 | 小宮地区 8名 横山地区 10名 | 52名 |

■ワークショップの流れ



●事前アンケートの実施

地区別ワークショップ開催前に、参加者に対し、大切にしたい・未来に残していきたい地域のお宝についてアンケートを実施しました。

●事前ヒアリングの実施

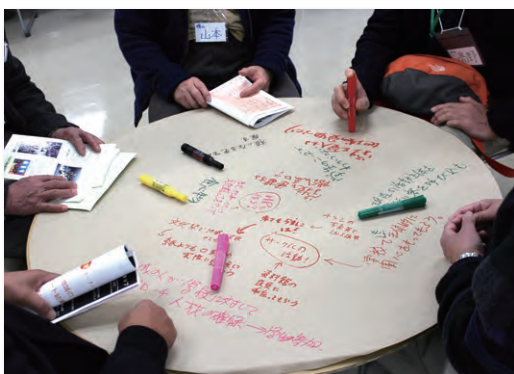
地区別ワークショップ開催前に、各地区の歴史文化に詳しい市民にヒアリングを実施し、地域のお宝に対する思いなどを聴きました。

●地区別ワークショップの開催

市内各地区で大切にされている地域のお宝について、同じ地区の方との情報共有や、他地区の方との意見交換を通じて、歴史文化の掘り起こしをしました。

また、地区の特徴や魅力を再認識し、歴史文化を次代へ継承するための方法等、その魅力の「伝え方」について話し合いました。

さらに、市内の大学に通っているものの、八王子のことをあまり知らない学生に対し、地域の方が歴史文化や地区の魅力を伝えると同時に、学生にはそれらを広く伝えるための「伝え方」についての提案をしてもらいました。



地区別ワークショップ・全体会での様子

●全体会ワークショップの開催

地区別ワークショップに参加した学生が、参加後に考えたことや行動したことを発表するとともに、参加者全員で市民が大切に思い、未来に残していきたい地域のお宝を挙げ、自分たちが大切に思うお宝をどのようにわかりやすく伝えるか、どのように活用するかについて話し合いました。

また、他地域の事例を踏まえて、これからやってみたいことや取り組みたいこと、地域のお宝を活用する上で大事にしたいことについて、意見交換をしました。

3. 文化財の把握

本計画の歴史文化に関わるモノ・コトの洗い出しの作業の中で、本市で行われた過去の文化財に関する調査の整理や実地調査を行い、第1章「5. 八王子の文化財」で記載したとおり指定等文化財 264 件のほか未指定文化財 192 件を確認することができました。ここで、これまでに本市が実施した文化財の把握調査の実施状況を振り返ってみます。

まず、平成に入ってから一定程度、網羅的かつ専門的に本市が実施した代表的な調査は以下のとおりです。

平成4年度(1992年度)に市指定文化財の調査を実施しました。全ての市指定文化財を調査対象とし、専門的な現状の調査を行いました。また、平成13年度(2001年度)には未指定文化財の調査を実施しました。伝統的建造物、年中行事、石造遺物等のうち重要と思われるものを抽出して、現状を調査しました。

近年で、最も大規模に実施された調査は、平成19年度(2007年度)から実施された『新八王子市史』編さん事業における調査です。『新八王子市史』編さん事業は、市政100周年を記念する事業の一つとして、平成29年度(2017年度)まで実施されました。編さんにあたっては、各分野の調査・研究を具体的に推進するため6つの専門部会(「原始・古代部会」「中世部会」「近世部会」「近現代部会」「自然部会」「民俗部会」)を設置しました。歴史のみならず、自然・民俗も含めた調査を行うことで、八王子市の深い歴史と豊かな自然、伝統文化を網羅した市史を目指しました。各部会では、八王子市内外を問わず、八王子市に関連する地域や個人・団体などに対し、実地や聞き取り、資料などの調査を実施し、また調査成果を専門部会で相互に共有し、分析しました。

東京都が主体となったものでは、平成4年度(1992年度)～平成6年度(1994年度)に都内の古墳の分布・確認調査が、平成11年度(1999年度)～平成13年度(2001年度)に都内の中世城館跡の分布・確認調査が実施され、本市に所在するものも多く対象として調査されました。また東京都では平成4年度(1992年度)から明治以前の都内に残る主要な「歴史の道」についての調査を実施しており、八王子市域を含む「浜街道」「甲州道中」「佐野川往還」が調査対象となりました。

こうしたこれまでの調査結果を踏まえ、本市の調査状況について、文化財の分類ごとに次の表のとおり整理しました。

過去調査が実施されている分類であっても、調査時期が古いことや、必ずしも全市網羅的な調査となっていないことなどから、全体的に調査不足となっています。

有形文化財(建造物)については、平成13年度(2001年度)の未指定文化財調査

で伝統的建造物のうち重要なものについて調査を行いました。既に20年近く経過しており、その後の把握ができていないことや、市域全体での網羅的な所在把握ができていないことから調査が不足しています。

有形文化財（絵画）については悉皆調査が行われておらず、全市的な把握調査が必要です。

有形文化財（彫刻）については、仏像を対象に昭和46年度(1971年度)・47年度(1972年度)に把握調査を行っていますが、実施時期が古く、現状の把握が不足しています。

有形文化財（工芸品）の山車については、平成23年度(2011年度)に市指定文化財の山車の現況把握調査を行い『八王子市指定有形文化財山車調査報告書』を刊行しました。その後2台の一本柱建ての人形山車の復元が行われるなど、新たに把握が必要な現状があります。

有形文化財（考古資料）については、埋蔵文化財の発掘調査にもなって報告書が刊行されています。出土された文化財は、埋蔵文化財整理室や郷土資料館に保管されていますが、その整理は必ずしも十分とは言えない状態です。

有形文化財（古文書・歴史資料・刀剣）については、一部の調査しか行われておらず、内容の把握や目録化等の詳細な調査が十分に行われていないものがあります。

無形文化財・民俗文化財については、『新八王子市史』編さん事業において「民俗」を対象に、民俗部会を中心に調査が行われ、その成果が『新八王子市史 民俗編』として刊行されました。また、八王子車人形について平成29年度(2017年度)から令和元年度(2019年度)までに調査を実施し調査報告書を刊行しました。しかし、八王子車人形以外の無形文化財・民俗文化財については、文化財としての把握調査

本市におけるこれまでの文化財の調査状況

| 分類 | 有形文化財 | | | | | | | 無形文化財 | 無形民俗文化財 | | 有形民俗文化財 | 遺跡 | | 動物 | 植物 | 地質鉱物 | 名勝地 | 文化的景観 | 伝統的建造物群 | |
|----|-------|----|----|-----|----|------|-----|-------|---------|------|---------|------|----|----|----|------|-----|-------|---------|-----|
| | 建造物 | 絵画 | 彫刻 | 工芸品 | 刀剣 | 考古資料 | 古文書 | | 歴史資料 | 郷土芸能 | | 風俗慣習 | 城跡 | | | | | | | その他 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原始 | — | | | | — | | | — | — | | △ | | | | | | | | | |
| 古代 | — | | | | — | | | — | — | | △ | | | | | | | | | |
| 中世 | — | | | | | △ | △ | — | | △ | ▲ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | × | |
| 近世 | | × | △ | △ | | | | | | | △ | | | | | | | | | |
| 近代 | △ | | | | × | | | △ | △ | | — | | | | | | | | | |
| 現代 | | | | | — | | | | | | — | | | | | | | | | |

—：対象なし、存否不明 △：一部調査実施 ▲：一部地区を対象に継続調査 ×：未調査

が十分に行われておりません。社会情勢や生活環境の変化により継承が困難になる恐れもあるため、現況把握調査や記録保存が必要です。

遺跡については、八王子城跡で継続的な発掘調査を行っています。他の城跡については、過去に一部調査を実施している部分もありますが、実施時期が古く、管理計画の作成に合わせ、今後の検討が必要です。

動物・植物・地質鉱物については、『新八王子市史』編さん事業において自然部会を中心に調査が行われ、その成果が『新八王子市史 自然編』として刊行されました。

名勝地・文化的景観については、これまで調査が行われておりませんでした。本計画の作成にあたり、一部を対象に実踏を行いました。

伝統的建造物群については、調査が行われておりません。

こうした調査状況を踏まえ、今後は調査が不足している建造物・民俗文化財などについて悉皆調査を実施し、さらなる把握と現状確認を行っていく必要があります。

